

受難節第2主日礼拝 3月16日(日)10時半 司式 古屋 治雄	
前奏	ひとよ、汝が罪の
招詞	ヨハネの手紙一 3:1
○頌 栄	21-83 (1節のみ)
○交読詩編	130 (156頁)
○主の祈り	(交読詩編に添付) [1-564]
○讃美歌	21-55
○使徒信条	(交読詩編に添付) [1-566]
聖書	マタイによる福音書 12:22~32 (新約聖書22頁)
祈祷	
○讃美歌	21-356
説教	「神の霊で 悪霊を追い出すイエス」 伝道師 太田 好則
祈祷	
○讃美歌	21-377
献金	
報告	
○頌 栄	21-27
○祝 祷	
○後 奏	
ご無理のない方は○印でお立ちください。	

祈禱課題「礼拝奉仕者の働きを覚えて」	
私たちには7日に1度の主の日の礼拝が与えられています。この大きな恵みに感謝します。また主の日の礼拝のために多くの方が奉仕してくださっていることを覚えて感謝します。御言葉の奉仕、音楽の奉仕の他、それぞれの賜物を活かして司式、受付、案内、それに放送や配信の奉仕をしてくださる方々があります。そうした奉仕の陰には週日の準備や後片付けがあることも覚えて、感謝します。神様の御言葉を集中して聴くことができるように私たちを整えてくださるよう祈ります。	
☆西東京教区を覚えて—今週は成瀬が丘教会 小泉 健 牧師・蓮沼 明 伝道師のために祈りましょう。	
◇ 本日の集会 ◇	
○CS 教師祈祷会	8時45分 祈祷室
○教会学校礼拝	9時 ホール・祈祷室
○日曜求道者会	9時10分 オリーブ
○聖歌隊練習	9時半 ろば
○長老選挙投票締切	総会開始時
○定期教会総会	礼拝後 礼拝堂 —以下総会後—
○長老選挙開票	祈祷室
○CS 教師会	ホール
○聖歌隊練習	ろば
○若草会例会	16時 ろば
◇ 今週の集会 ◇	
祈禱会 19日(水) 19時半 祈祷室・オンライン 「礼拝奉仕者の働きを覚えて」 ヨブ記24章 神戸再度筋教会(兵庫県神戸市) 吉野 宣夫 牧師を覚えて	
☆西東京教区伝道協議会20日(木・祝)10時半 於 国分寺教会 「今からの伝道」	
○標語の歌選考委員会	20日(木・祝)17時 ろば

二〇二四年度 教会標語 「主に感謝せよ。まことに主は恵み深い。慈しみはとこしえに。」 詩編一三六編一節

次週礼拝 3月23日(日)10時半 受難節第3主日礼拝 説教 「人を裁き、かつ救う神」 牧師 古屋 治雄 聖書 ヨハネによる福音書 12:44~50 交読詩編 119:169~176 (タウ) 讃美歌 21-13、21-408、21-452 【子どもメッセージ】	
◇ 次週主日の集会 ◇	
○聖歌隊練習	9時半 ろば
○コーヒータ임	礼拝後 玄関ロビー —以下コーヒータ임後—
○シオン会例会・総会	祈祷室
○信友会総会	ホール
○標語の歌楽譜集編集委員会	ろば
○教職・事務体制委員会	オリーブ
・中高生卒業を祝う会は30日に移します。	

先週講壇	「イエスの栄光を見た預言者イザヤ」 ヨハネによる福音書12:36b~43 牧師 古屋 治雄
◇ユダヤの民にとって大切な過越の祭りが始まろうとしている時、主イエスは重大な決心をされてエルサレムにお入りになった。主イエスは、ご自分がこの世の力に裁かれて死んでいくことによって実はこの世の力が裁かれると断言されたが、その真理は人々に理解されなかった。ヨハネはそのことを旧約聖書のイザヤ書の二箇所から引用している。38節の預言はイザヤ書53章1節からの引用で、「苦難を受ける主の僕」のことが預言されている冒頭の言葉である。苦難の僕の姿と主イエスが死に向かう姿の重なりを示している。そして主イエスが死へと向かうことへの民の無理解をイザヤ書6章からも引用し、主イエスが死へと向かってくださった本当の意味を私たちに明らかにしている。「預言者イザヤの言葉が実現するためであった」(38節)とはどういうことなのか。神様と私たちの関係が、人間の背きや無理解によって断絶へと向かっていることを伝えているのではない。「神は彼らの目を見えなくし 心をかたくなにされた。彼らが目で見ず 心で悟らず、立ち帰ることのないためである。私は彼らを癒やさない。」とあるが、ヨハネは父なる神様の人間への厳しい裁きの中に御子イエス・キリストが自ら分け入ってくださり、ご自身の十字架の死を賭けて父なる神様に挑戦してくださっていると受け止める。「今、私は心騒ぐ。何と言おうか。『父よ、私をこの時から救ってください』と言おうか。しかし、私はまさにこの時のために来たのだ」という27節の主イエスの言葉には、その決意が表明されている。	
◇700年以上の隔たりを越えてイザヤが仰ぎ望んで見た主イエスの栄光とは、神様に滅ぼされても仕方がない私たち人間をご自身の死を賭けて根本的に変えてくださる輝きであり、神の民として生きてゆける希望の光である。「私を信じる者が、誰も闇の中にとどまることのないように、私は光として世に来た」(46節)という御言葉を新たな糧として、今週も歩もう。	
(要約:金井恭子)	

2024 年度第 2 回教会総会(定期) 公告 日時 2025 年 3 月 16 日(日)礼拝後(12 時) 場所 阿佐ヶ谷教会礼拝堂・オンライン 議案 ① 2025 年度長老選挙に関する件 ② 2025 年度年間予定承認に関する件 ③ 2025 年度通常会計予算案承認に関する件 ④ 今後の部会活動に関する確認の件 ⑤ 2025 年度教区総会議員選出の件 ⑥ 2025 年度責任役員選出の件 ⑦ 本総会議事録承認確定に関する件 総会議長 古屋 治雄		
◇ 報 告 ◇ ○ときわ木会例会としては最後の例会が 12 日、行われました。21 名の参加(含オンライン3)を得て、受難節にふさわしい詩編 22 編を古屋牧師に解き明かしていただいた後、お茶とお菓子をいただきながら、交わりの時を持ちました。 ○14 日、10 組(世田谷)組会が行われ、聖書の学びと、豊かな交わりがありました。出席 11 名。 ○4 月 20 日のイースター礼拝で、受洗、信仰告白、転会をお考えの方は教職にご相談ください。 ○創立 100 周年記念誌をまだお受け取りでない方は、受付にてお受け取りください。 < 献金等振込先 > ・郵便振替 00110-8-196270 ・三菱UFJ 銀行阿佐ヶ谷駅前支店普通 1011835		
◇ 予 告 ◇ ○受難週早天祈祷会 4 月 14 日(月)～16 日(水) 朝 6 時半 オンラインのみ ○洗足木曜日聖餐夕礼拝 4 月 17 日(木) 19 時半 礼拝堂 ○受難日祈祷会 18 日(金) 14 時 祈祷室・オンライン ○CS 復活祭早天礼拝 20 日(日) 朝 7 時半 於 東京女子大学 * 受難週克己・イースター献金 主の十字架の苦しみと復活を覚え、与えられた恵みに感謝し、お捧げしましょう。 期間：4 月 20 日イースターの日まで		
定 期 集 会 案 内 ○主日礼拝 毎週日曜日 10 時半 ○火曜礼拝 毎月第 2・4 火曜日 15 時 ○教会学校 毎週日曜日 9 時 ○祈祷会 毎週水曜日 19 時半 ○日曜求道者会 毎週日曜日 9 時 10 分 ○聖書に親しむ会(木曜求道者会) 毎週木曜日 19 時半		聖 書 日 課 17 日(月) ガラテヤ 3:21-29 サム下 2:1-11 18 日(火) 4:1-7 5:1-25 19 日(水) 4:8-20 6:1-19 20 日(木) 4:21-5:1 7:1-13 21 日(金) 5:2-15 7:18-29 22 日(土) 5:16-25 9:1-13 23 日(日) ヨブ 1:1-12 I ペトロ 4:12-19 マタイ 16:13-28 詩編 86:5-10
○主任牧師 古屋 治雄 furuya@asagaya-church.com ○伝道師 太田 好則 ota@asagaya-church.com 教職との面会をご希望の方は電話またはメールで予約の上、お越しください。		

2025 年 3 月 16 日(日) (No. 50)

私たちが神の子どもと呼ばれるために、御父がどれほどの愛を私たちにお与えくださったか、考えてみなさい。
事実、私たちは神の子どもなのです。世が私たちを知らないのは、神を知らなかったからです。

ヨハネの手紙一 3 : 1

日本基督教団
阿佐ヶ谷教会
週 報

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5-18-10
Tel.03(3337)5879 振替 00110-8-196270
ホームページ <https://www.asagaya-church.com>
教職メール staff@asagaya-church.com
事務室メール office@asagaya-church.com